



SSKP つくしんぼの会報紙

# つくしんぼ通信

"つくしんぼ"はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

2000年10月号  
(No.46)

編集~フリースペース  
つくしんぼ  
町田市小川1511番地  
TEL 042(796)8468

## スクランブルだつ!

まずは交遊録から

つくしんぼが補助金が貰えるようになつたのが二年前。それ以来、ずっと頑張ってくれてきました。職員が九月一杯で退職しました。

裏面の交遊録に彼の文章がありますので、まずはそちらから読んで頂けると嬉しいです。

というわけで

彼は、つくしんぼの遊びといふ活動の中ににおいて中心的な人間でした。

としない自閉症の子ども達を、

力技の遊びで自分の世界に引きずり込み、いつしか要求を導き出してしまつ不思議な才能を持っています。

つくしんぼには、それまで他人に興味すら示さなかつたのに、彼と遊ぶようになつて、たとえ言葉ではなくとも

「あれをして欲しい、これをして欲しい」という思いを伝えてくれるようになつた子どもが何人もいます。初語が彼を呼ぶ言葉だった子もいます。

それは、もしかしたら、それ

ぞの子どもの中でも発達段階がそのタイミングにあつただけなのか

も知れません。だけど、そんなに簡単に言い切れない何かがあるような気がしてなりません。

彼を見ていて、いつしか生まれたつくしんぼの名言がありま

す。それは「下手な療育、保育に足らず」という言葉……。

もしかしたら彼のやつていことは、一種の遊戯療法の実践だったのかも知れません。

いや、やはりちょっと違う

ような気もします。療育には理論など関係ありませんでした。感性だけで子どもと接していましたように思います。

いずれにせよ、つくしんぼが遊びの大黒柱を失つてしまつたことには変わりありません。

つくしんぼは職員の社会保障

が遊びの大黒柱を失つてしまつたことには変わりありません。

つくしんぼは支払えないから

給与だけではありません。

つくしんぼは職員の社会保障

が遊びの大黒柱を失つてしまつたことには変わりありません。

つくしんぼは支払えないから

給与だけではありません。

つくしんぼは職員の社会保障

が遊びの大黒柱を失つてしまつたことには変わりありません。

つくしんぼは支払えないから

給与だけではありません。

つくしんぼは支払えないから



に到達出来ません  
でした。そして  
うすぐ28歳……。

れば、彼に辞めて欲しくない

のが本心でした。でも、面と

向かっては誰も「辞めないで」

とは言えませんでした。彼の

生活を支えるだけの給与を、

つくしんぼは支払えないから

です。

つくしんぼは支払えないから

愚痴つてる場合ではない  
というわけで、現在つくし  
んぼはスクランブル状態です。

家賃補助ですって?

うひやあ、こりやウチだけ

でなく、一体幾つの無認可作業所がつぶれるやら……。

ア 様

なるか、を……。

で、施設維持管理費の次は

たらしいんです。夏の期間中、市役所内も議会も全館エアコンを止めて仕事をしたらどう

予算を削る前に経験してみ

たるいいんです。

うひやあ、こりやウチだけ

でなく、一体幾つの無認可作業所がつぶれるやら……。

家賃補助ですって?

うひやあ、こりやウチだけ

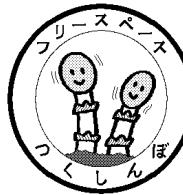
でなく、一体幾つの無認可作業所がつぶれるやら……。

ア 様

家賃補助ですって?

うひやあ、こりやウチだけ

でなく、一体幾つの無認可作業所がつぶれるやら……。



SSKP

# つくつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです



みんなありがとう！

菊田 博

今、懐かしい気持ちで1枚の写真をみています。私が初めてつくしんぼにきた3年前の4月、みんなでお花見を行った時のものです。お花見とはいってもつくしんぼ恒例の宴会ではなく、このつくし野の街にある桜並木をハイキングがてらみに行つた時のものです。

思い返せばあの頃は何もかもが不慣れでした。このつくし野、小川の街。この街に住むたくさんのみなさんにつくしんぼの子どもたちにも。目に映る何もかもが新鮮で、期待と不安に心躍らねます。

を送っていました。写真の中の私もどこか、カメラにむけた精一杯のつくり笑顔にみえてきます。

そして今、つくしんぼの職員としての3年を振りかえると、いつも子供たちと遊んでいるときのことが思い浮かびます。自転車でロングドライブしたこと。野球、バトミントン、バスケット。作業用一輪車に子どもたちをのせて街中を散歩したこと。虫とりに木の実ひろい、つくしんぼのスリルブランコ、スーパージャンプ、スーパーこちよこちよ。数えあげればきりがないほどですが、子どもたちと遊ぶのが楽しくて、楽しくて、そして何よりも子どもたちが笑っている顔を見るのが嬉しくて、嬉しくて、自分の年齢を忘れ、まさに童心にかえって子どもたちと遊ぶ毎日でした。

そんな子どもたちとのふれあいの中で私は、いろいろなものを取り戻したような気がします。その中の1つをあげるとするなら、私は気持ちの表現が下手で、特に人に親しさをよせるというような感情をだすことは苦手なことでした。でも

子どもたちは、素直に目を見てくれて、声をかけてくれたり、いたずらしてたり、笑いかけてくれたり、そういう子どもたちとの遊びのなかで私の気持ちはなごみました。

そしてもう、なれない場所ででも、知らない人ばかりのところでも、たとえカメラのレンズがむいていようとも、私は自然に笑っていられるような気がします。

考えてみたら世の中にこんな27歳いないと思います。学校が終わった後の自由な時間に子どもたちと一緒に遊ぶことができ、彼らと共に笑ったり、怒ったり、悲しんだり、学んだり。私はこの歳にして、本当に贅沢な時間をいただきました。

つくしんぼをささえてくださった多くの皆様、本当にありがとうございました。

たくさんの元気

な子どもたち、わたくしはみんなのこととを決して忘れません。

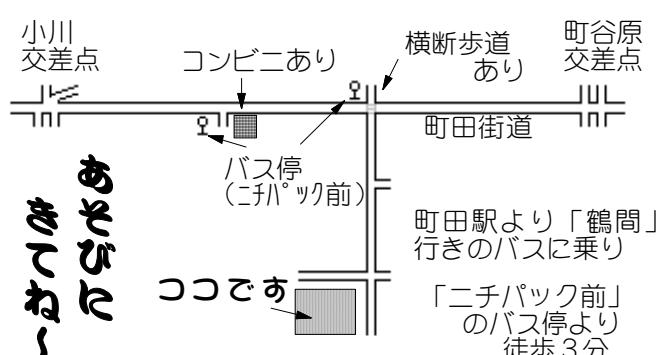
本当にありがとう……。



## つくしんぼ 秋のイベント情報

- 10/22 町田作業所連絡会バザーに出店（於 町田東急横広場）  
10/28 つくし野中フェスタに出店（於 つくし野中学校）  
11/3~4 ゆうゆう版画館まつりに出店（於 せりがや公園）  
11/11 つくしんぼガレージセール開催（於 つくしんぼ）

毎週のようにどこかで何かをやってるつくしんぼです。ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。



田園都市線「すずかけ台」駅からだと徒歩15分です

発行所

東京都障害者団体定期刊行物協会  
定価21円

### 編集後記

「寿退社」という言葉があります。これって、結婚を契機に辞める女性に対して使われる場合が多いようですが……。

福祉業界の場合、もっとも無認可の場合ですが、男性に対して使われることが多いということをよく聞きます。

作業所等で働くのは一人暮らしで30歳位までなら何とかなるけれど、結婚して、ましてや子どもを育していくとなると作業所の給料ではどうにもならない

い。ゆえに別の仕事を探さざるを得ない……。

ドラゴンクエストのダーマの神殿よろしく、簡単に転職出来るのならいいのですけど、現実はゲームのようにはいかないわけで。

子どもの人口が少なくなってきた今、大学ではなぜか福祉系の学部 学科が増えています。みなさん、老人福祉に進みたいのかなあ??? 障害者福祉を選んでわざわざ貧乏になりたくないんだろうし……。（；；）

私たち、ハンディを持つ子ども達の放課後活動の場としてフリースペースつくしんぼを九六年五月に開所し、おかげさまに至りました。月に開所し、おかけさまで九八年四月より補助金を頂ける団体として認められました。しかしながら、公的資金だけでは運営が苦しめられることになりました。

金だけでは運営が苦しめられることになりました。そこで皆様にお願いがございます。本当に勝手なお願いです。ですが「つくしんぼをさえる会」に入会してはございませんでしょか。二千円は年間、ごめんなさい。本当に勝手なお願いです。そこで皆様にお願いがございます。本当に勝手なお願いです。頂けます。年会費のあ

「つくしんぼをさえる会」  
ご入会 ご更新のお願い

郵便振替口座番号 00120-7-168283

加入者口座名称 フリースペースつくしんぼ